

# 「子供の森」計画

in フィリピン



子どもたちの「自然を愛する心」を育みながら地球緑化を進める「子供の森」計画。2011年に活動20周年を迎えたフィリピンでは全土にわたって多くの子どもたちが活発に参加しています。森の生物多様性を学んだりエコキャンプで他の学校の子とも同士が学びあったりと様々な活動を展開しています。

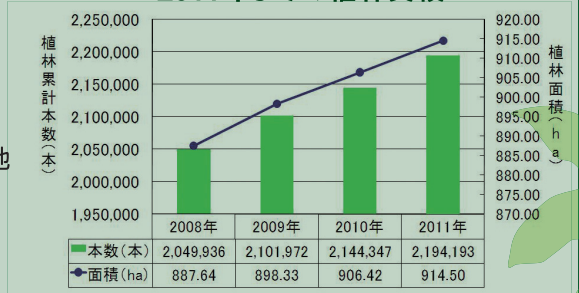


## 2011年の活動

- 2011年は129の学校で重点的に植林活動や環境教育を実施（植林49,846本・面積8.08ha）
- 20周年の記念すべき2011年には、新たに25の学校が仲間入り!
- 学校の校庭、地域の山、海へのマングローブ植林など、多くの地域で積極的に活動が行われました

「子供の森」計画参加学校数(1991年からの累計値)：1,032校

## 2011年までの植林実績



## フィリピン



- ◆人口：94,013百万人（2010年IMF推計値 日本は127,594百万人）
- ◆面積：29万9千km<sup>2</sup>（総務省統計局資料2008年値 日本は37万8千km<sup>2</sup>）
- ◆一人当たりGDP：2,255 US\$（2011年9月IMF試算値 日本は45,774 US\$）
- ◆森林率：26%（2010年FAO公表値 日本は69%）
- ◆「子供の森」計画積極展開地域：フィリピン全土



フィリピンの活動を支援して下さる方を募集しています。ご支援や各地域の子どもたちの活動の様子はこちらから

「子供の森」計画情報提供サイト  
[www.kodomonono-mori.info](http://www.kodomonono-mori.info)



ベルマークや書き損じはがきも募集しています。ベルマークは1点1円として「子供の森」計画の支援となります。事務局までお送りください。

事務局



公益財団法人  
**オイスカ**

〒168-0063 東京都杉並区和泉3-6-12  
 ☎ (03) 3322-5161 ☎ (03) 3324-7111 E-mail oisca@oisca.org  
<http://www.oisca.org/>



## 木々に感謝して

木々が台風から学校を守ってくれたよ

カピルピルワン小学校のある周辺は、かつては木が少なく土地もやせていました。2002年に「子供の森」計画に参加してから現在までに3000本以上の木を植え、今では植林活動は子どもたちに最も人気のある学校行事になっています。活動を始めて数年後、学校の周りにきれいな緑が広がりました。11年9月17日、大きな台風が学校のある北フィリピンを直撃しました。主要な道路や水道や電気、穀物などにも相当な被害が出て、小学校の子どもたちの生活にも多大な影響がありました。数年かけて成長した木々の中には根こそぎ倒れた木や、枝が折れたりした木もありました。しかし驚くべきことに、小学校の校舎は無傷でした。周りに植えた木々が、学校をとても強い力をもった台風から守ってくれた、と子どもたちは信じています。

このように木々からの恩恵を実感したことで、カピルピ

ルワン小学校は、木を植えて育てることにより力を注ぐようになりました。そして何よりも、「子供の森」計画で学校での植林や環境教育活動ができるよう、継続してサポートしてくださっている皆様に心から感謝しています。



森の中で動植物を見つけて楽しむ子どもたち



台風で根こそぎ倒れた木



## バナナの葉っぱから…?

子どもたちは新しいチャレンジを続けているよ

山のふもとに位置するブオン小学校は、全校生徒の9割以上がタグバヌア族というパラワン島の先住民族の子どもたちです。とても小さな学校でこれまで1年生から5年生までしかありませんでしたが、2011年に6年生のクラスができました。

同年から「子供の森」計画に仲間入りしたこの学校で子どもたちがまず取り組んだのは、バナナの葉による苗木ポット作り。この地域にはバナナがたくさん生えており、

葉っぱは食べ物を包むときなどに使われていますが、苗木ポットにするのは初めての試みでした。葉っぱでできたポットなら地面にそのまま植えても大丈夫ですし、なによりバナナの葉には植物が育つのに必要なカリウムが含まれて

いるので、栄養にもなるのです。子どもたちは「子供の森」計画コーディネーターによるお手本を見た後、さっそくバナナの葉を集め、一つひとつ丁寧にポットを作って苗を植えていました。「葉っぱがポットになるなんて驚きました。もっといろいろなことをやってみたいです」と話す子どもたち。これからの「子供の森」計画の活動をとても楽しみにしています。



ポットづくりのためにバナナの葉っぱを集めます



自作のポットに苗を植えました



ポットの形を手で整えます

## TOPICS

### グレッグ君と「子供の森」計画

ミンダナオ島にあるハギミタン小学校6年のグレッグ君は、日本の支援者に送るクリスマスカード作りのアート・ワークショップに参加しました。「『子供の森』計画は、木や自然の大切さを学ぶことができ大きなプレゼントみたいなんだ」と話してくれました。学校の森で経験を積み、小さな苗木を育てていくために、たくさんの努力や責任があることに気づいたそうです。「前より責任を持てるようになったし、絵も描けるようになった」と嬉しそうに話すグレッグ君ももうすぐ中学生。「子供の森」計画はこのような子どもたちの挑戦や成長を応援し続けます。



参加したみんなと(グレッグ君は中央、緑のTシャツ)